

平成28年度 三条市音楽部 活動報告

部長 青柳 道代

1 研究主題

子どもたちが、主体的・協動的に学習する音楽の授業を目指して

2 研究の概要

子どもたちが、主体的に音楽を楽しむためには、授業の工夫が不可欠だと考えた。そこで、自分たちの授業に活かせる、「音楽作り」や「歌唱」「鑑賞」の有効な実践例の研修を、講師を招いて実施することにした。

3 研究の実際

月 日	活動の概要（活動名・概要・指導者等）	会場・参加者数
5月9日	組織・活動計画作成 鑑賞や歌唱の指導方法を学びたいという声が多く聞かれた。	一ノ木戸小学校 25名
6月24日	歌唱指導を含む音楽科の授業づくりについて 講師 寺泊小 教頭 黒崎千賀子先生 次の日から使えるような音楽授業のネタをたくさん紹介してもらい、実際に自分たちでも体験しながら音楽を楽しんだ。 その後、参加者で「いのちの歌」の合唱をし、合唱を作り上げていく過程を体験した。	笹岡小学校 27名
9月28日	聴いて・感じて・考えて 音楽を楽しむ子ども 講師 小須戸小教諭 村山香織先生 (新潟市マイスター) 子どもたちが主体的に音楽作りに取り組めるような実践例をお聞きし、実際に自分たちでも音楽作りに取り組んだ。 その後、鑑賞教材においての実践を紹介していただいた。	笹岡小学校 27名

4 成果と課題

(1) 成果

二つの実技研修を通して、部員の音楽に対する考え方が変わっていった。機械的に行う音楽授業ではなく、子どもたちと一緒に楽しめる音楽授業のあり方を研修することができた。どの学年でも使える技や学年に応じた使い方なども教えてもらい参考になったという声が多く聴かれた。

とかく敬遠されがちな音楽作りや、鑑賞指導に対しても、具体的な実践例をお聞きすることで、自分たちにも使える、できるという自信にもつながった。

(2) 課題

今後も、部員の要望を聞きながら、実際の授業に生きる研修を重ねていきたい。



